

糠内学園の目指す子ども像への取組

～3校連携で育む「次代を拓く」子ども～

糠内小学校 × 明倫小学校 × 糠内中学校

目指す15歳の姿

学ぶ力

自分の考えをもち、主体的に取り組む子ども

- 目的・価値を見出す学び
- 主体的な取組姿勢
- 深い思考力

つながる力

他者と協力し、前向きに判断し、行動する子ども

- 協働する力
- コミュニケーション能力
- 地域への貢献意識

子ども像策定までの経緯

保護者アンケート(R6.10月実施)

「我が家の子どもはこんな 15歳になっていたらいいな」

- 自分の考えを人前でも発言できる
- 周囲の人と協力して物事に取り組むことができる
- 自分に自信をもって楽しく過ごす

教員全体会(R7.1月実施)

「のびてきた力・のばしたい力」の分析

- 発想力、表現力、発信力の重要性を確認
- 日常的な取組の必要性を共有

保護者・教職員の声から見た課題

保護者の願い

- 自分の考えをもち**発言できる** ●**柔軟な思考**で対応できる
- 周囲と協力**できる ●自分や他者を**認め合える**

教職員が見た課題

- 表現力**の向上が必要 ●**発信力**の日常的育成
- コミュニケーション力**の強化 ●発表会だけでなく普段から

重点課題：表現力・コミュニケーション能力の育成

取組①

グループ学習

- 全校授業等で積極的に導入●対話的な学びの実現

主体的・対話的で深い学び

- 子ども主体の授業●個別最適な学び●協働的な学び

共同研修

- 研究授業交流による授業改善
- 小中一貫カリキュラムの実践
- 糠内学園スタンダードの徹底



取組②

合同行事

- マラソン大会
- 全国体力・運動能力調査

⇒体力向上

⇒異年齢コミュニケーションを通じた成長



総合学習交流

- 各校の学習を相互参観⇒表現・発表の場

各種検定

- 漢検、数検、英検⇒目標に向かう力



糠内学園が目指すもの

重点的な取組

- 日常授業での対話重視
- 3校連携による実践
- 学校運営協議会を中心とした地域との協働

保護者・教員・地域が一体となって「次代を拓く」子どもを育成